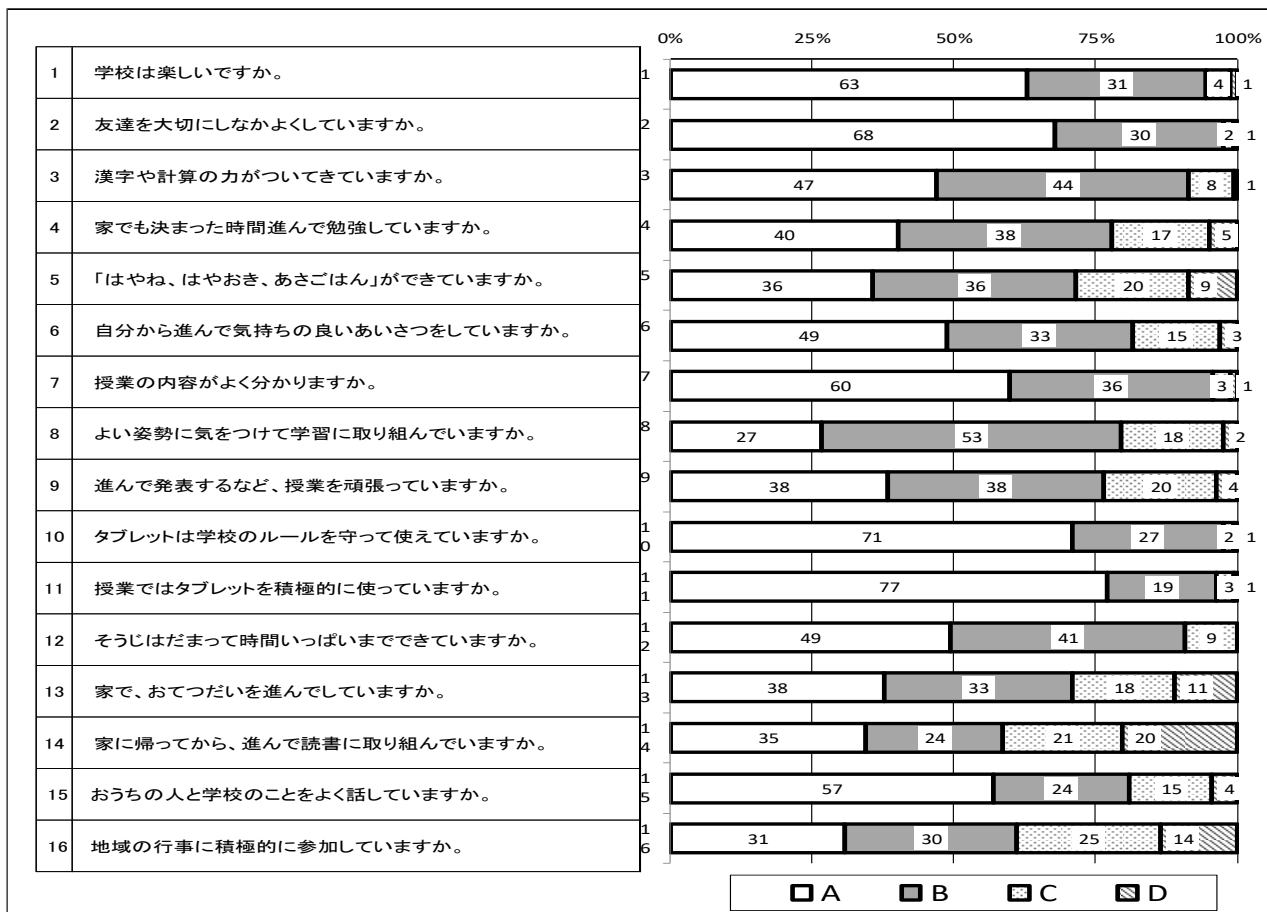


令和5年度 学校教育アンケート並びに学校関係者評価委員会の結果

1 児童・保護者アンケートの結果と分析・改善策

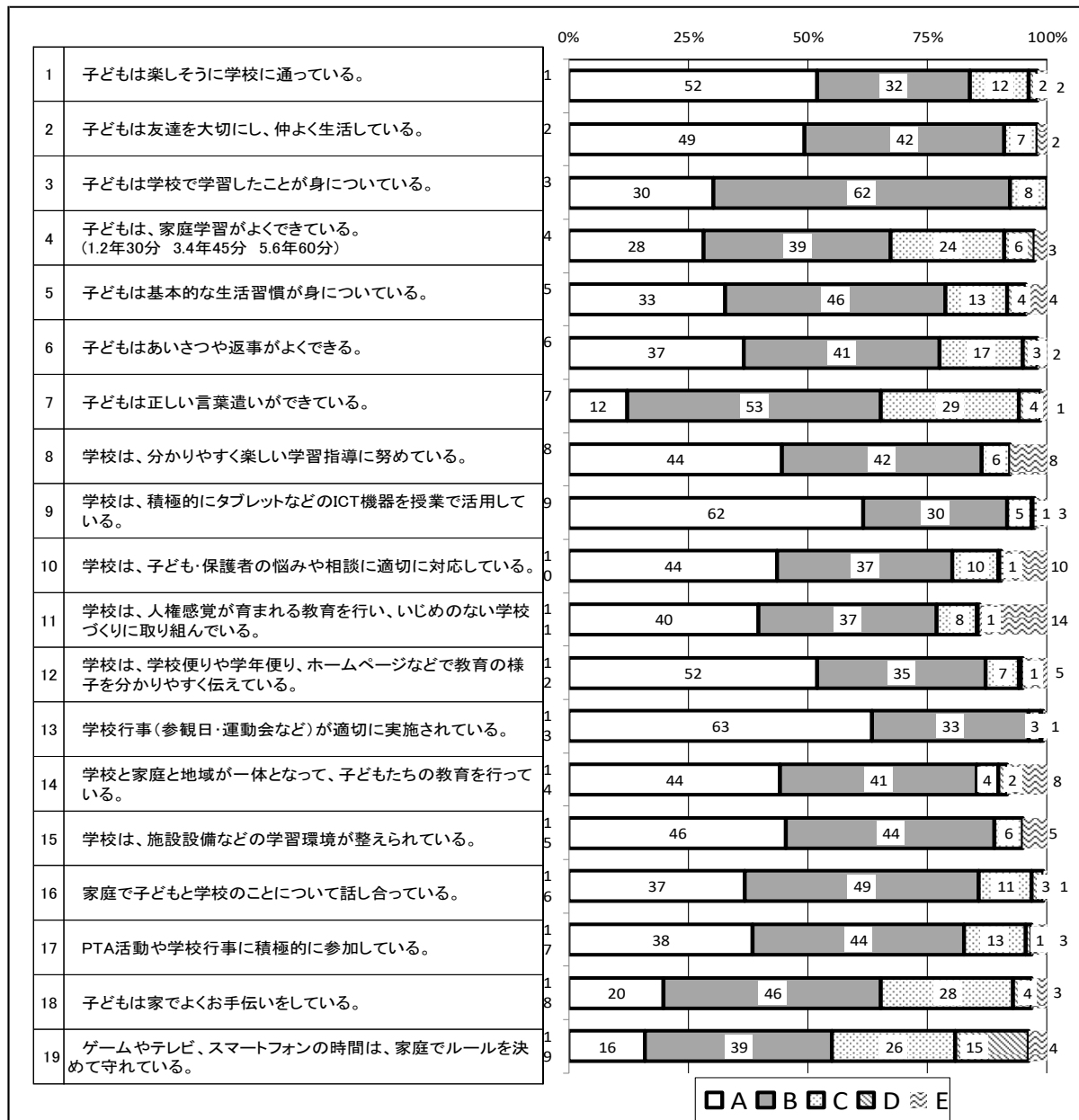
R5年度 児童アンケート学校全体集計



よくできている・・・A できている・・・B あまりできていない・・・C できていない・・・D

- ・全体的に「よくできている」「できている」と感じている児童が増えている。
- ・「学校は楽しい」「友達と仲よく」の項目は、高い評価となっている。
- ・「漢字や計算の力がついてきている」、「自分から進んで気持ちの良い挨拶をしている」という児童が増えている。
- ・「家に帰ってから、進んで読書に取り組んでいる」は、昨年度に比べ、増えている。
- ・「家庭学習」「よい姿勢に気を付ける」「タブレットのルールを守る」「そうじの態度」にやや課題が見られる。
- ・「地域行事への参加」については、新型コロナウイルスが5類に移行となり、地域行事に参加する機会が増えてきている。

R5年度 保護者アンケート学校全体集計



A…とてもよく当てはまる B…当てはまる C…あまり当てはまらない D…当てはまらない E…分からない

<保護者アンケートについて>

- 全体的に昨年度と変わらない評価を得ているが、ポイントが下がった項目が増えた。
- 「授業でのICT機器の活用」については、大変評価が高く、保護者も実感している。
- 「家庭学習」、「生活習慣の定着」の評価が低くなっている。
- 「正しい言葉遣い」「いじめのない学校づくり」など、道徳的なものに関する評価が低い。
- コロナウイルス5類移行により、学校行事も通常開催となり、評価が高くなっている。
- 「ゲームやテレビ、スマートフォンの時間」についての評価は、低くなっている。

2 北中校区学校運営協議会における委員の意見（3校の評価を踏まえて）

- ・アンケート結果について

今年度も3校ともに、朝ご飯を食べる、テレビやゲーム、スマホの時間を決めるなど、家庭での教育に関することに課題が見られる。学校や家庭において、子どもたちがICT機器を効果的に活用している一方で、使用時間やルールについて課題が見られる。定期的に情報モラルに関する授業等を行ったり、家庭への啓発プリントを配布したりするとよい。

- ・学校評価アンケートの回収方法について

中学校の保護者対象のアンケートの回収率が低いことから、今後回収率を高めるための手立てについて議論した。中学校では、QRコードを活用したアンケート、小学校では、紙媒体を活用したアンケートを行っている。今後、各校の成果と課題を情報共有し、回収率100%に向け、回収方法を工夫していく。

- ・北中校区のボランティア活動について

北中校区で実施している夏と冬の2回のボランティア活動や各公民館主催の活動に、多数の北中学生が積極的に活動している。その活動している姿からも生徒たちのボランティア意識の高さが見られ、大変感心している。このような活動は、地域と交流し、地域を大切にする態度の育成にもつながる良い機会になるので、今後も継続して行ってほしい。

- ・防災を通して、今後の地域とのつながりについて

コロナ禍前に、一度北中校区に中学生が小学校に訪問し、合同の防災訓練学習をしていた。しかし、学校行事等により、日程の確保が難しく、それ以降実施していない。しかし、今後の南海トラフ等の防災対策として、小中連携で行うことは必要である。

新居浜小学校区では、公民館主催で8月に防災キャンプ、9月に防災運動会を実施した。北中学生が積極的にリーダーとなり、地域の方と協力し、運営に携わった。いろいろな体験活動を行うことができ、参加した児童生徒や地域の方は、充実した一日となった。事前の計画の時から、北中学生も参加し、大変助かった。地域全体の防災意識を高める良い機会となった。来年度、近隣の保育園と一緒に合同避難訓練や地域と連携した防災参観日を実施する予定である。

そこで、来年度も公民館の活動と連携した防災訓練活動を各小学校単位で継続して実施していく。この活動を通して、今後も先輩の姿を見た小中学生が地域のリーダーとして活躍できるように育成していく。